

AUTOBACS



SUPER GT 7

2010 SERIES



- SUPER GT SERIES PARTNER
- AUTOBACS
 - LEXUS
 - HONDA
 - NISSAN
 - SUBARU
 - J SPORTS
 - GRAN TURISMO
 - SINGHA



2010 **AUTOBACS** SUPER GT ROUND 7

FUJI GT 300KM RACE

9.11 ^{Super}sat 12 ^{Poco}sun
FUJI SPEEDWAY



FUJI SPEEDWAY

公平な競争力で戦う

エンジンが縦向きに搭載されるリアエンジンレイアウトを採用し、クラッシュゾーンでの出力を抑えている。

【GT1000】 最低重量は1100kg、40.7mm×1個または25.1mm×2個。

【GT1300】 最低重量は1100～1200kgで燃料の満ち満ちたリアエンジンレイアウトを採用する。(燃費効率向上)



工夫が凝らされるエアロパーツ

高速で空力競争の激しさを全身の軽量化からバンパー、フロンティアのガードにまで1mmの空力差が空力差を生むことには留意されている。リアウィングの翼は1枚の構造となる。

【GT1000】 リアウィングの翼前後径は330mm×90mm以内、幅190mm、高さはフロントの2mmから1100mm以内、ボディ下部に幅200mm、厚さ30mmのステッププロテクターを標準に、燃費向上用を標準とする。

【GT1300】 リアウィングの翼前後径は430mm×190mm以内、幅は基本車両の幅に合わせる。高さにはフロントラインドレーマーの構造のままで、燃費向上用は200mm。



政策にフィットなレース専用タイヤ

タイヤは規定の範囲内でレース専用のもを使用する。最大幅はGT1000が14インチ(約356mm)、GT1300が12インチ(約305mm)。最大厚はともに28インチ(約711mm)。手動で交換スタート時までにはレインタイヤも併用してリットまで使用できる。各リットの間隔は必ず異なるが、手動の交換タイミングに合わせた場合は後方下流に方向したものを交換スタートで使用すること。



チームごとに異なるサス、ブレーキ

GT1000、GT1300ともにサスペンションは独自のレース専用に変更してもよい。ただし、電子制御や制動時に外部から調整できるものは禁止。ブレーキディスクは鉄製のみでカーボンディスクは禁止。サスペンション調整はコンパニメントのコントロールバルブで行う。車室内から機械的にブレーキのバランスを調整することが許されるが、電子制御は禁止。



Technical Regulation Digest

一部以外は完全レース仕様

【GT500】 基本車両の車室部分の構造は競技用だが、これは認められず、他の走行系カーボンファイバー等で覆って使用することができず。

【GT300】 車室部分を除いてはほぼ、その構造はハイブリッド構造にしていてもよい。前後のカーボンファイバーなど、先述と同様に走行系カーボンファイバーに限定できる。本編、前後オーバーハング、フロンダーは規定の範囲内で拡大、縮小できる。



公道走行可能な車両がベース

JAFが指定した車両に準じた車両(JAF-GT1、レーシング4門用レース用車、GTレースの指定など、GTA/GTアソシエーションが承認する競技車両に準じたGT車両、GTAの特別に認められた公道走行が可能な車両)がベースとなる。

【GT500】 2ドア車種のみ。

【GT300】 2ドア車種および3ドア車種でも参加が可能。

ドライバーの腕を測う制限

アンチロックブレーキ(ABS)、トラクションコントロール、アクティブサスペンションなどの電子制御装置は禁止。

より速したものへ変更可能

競技するエンジンに規定の範囲内で最も車速向上を図ることが可能。

【GT500】 JAFが指定した3400cc、V型6気筒の自然吸気エンジンが推奨される。

【GT300】 基本車両と同じメーカー製のものが変更できる。競技開始の直前で潤滑剤やタイヤ空気圧の変更も可能。



GT500はFR、GT300はFF仕様か

GT500はFR、GT300はFF仕様か

【GT500】 基本車両の駆動方式に関わらずフロントにエンジンを搭載し、後輪による駆動力のみが得られる。リアアクサスの駆動力は伝達することにはラジアルスピン防止が可能。電子制御の4WDシステムも使用可能。

【GT300】 自然吸気3リッター未満のエンジンとするなど駆動方式の変更が可能。エンジン排気管を空気を吸って冷却し、リフレッシュする等も認められる。リアアクサスの駆動力も伝達することが可能。ただしレーシングタイヤへの伝達も可能だが、オートマチックは認められていない。

No.	Machine	Driver	Team	Age
2	 アップルズ-ose-電気 McLaren 650S GT3 E-LEC	加藤 義典 山口 弘	Cars Total DreamZ	YH 24
3	 TOMICA Z NISSAN FAIRLADY Z GT3 R / V02002	野村 一樹 野村 貴孝	NAZEM MOTOR SPORT	YH 24
5	 マッパ/VOOOOOO車種400R Mazda RX-7 GT3 R / M9977	佐々 健二 藤原 正樹	TEAM マッパ	YH 23
7	 M7 MUTIARA MOTORS競走SGC 7 Mazda RX-7 GT3 R / 208-Power	山口 健樹 野村 貴	M7 70競走レーシング	YH 24
9	 新藤ミナ X GSRホルシエ PORSCHE 911 GT3 R MY1008R / M9129	新藤 貴 高木 雄也	GOODSMILERACING with COX	HK 24
11	 JIMGAINER DIXEL DUNLOP F430 Dixel F430 / F12617	中野 智也 中野 貴孝	JIMGAINER	DL 24
19	 ウェッズスポーツ/RS350 VAUXHALL VECTRA GT3	藤村 孝 水原 健治	RACING PROJECT BANDOO	YH 24
22	 R'Ox Vectra 350R VAUXHALL VECTRA GT3	藤村 孝 Guta 健介	R'Ox MOTORSPORTS	YH
25	 ZENT Porsche RSR PORSCHE 911 GT3 R MY1008R / M9129	藤原 昌雄 上原 謙史	SAMURAI Team TSUCHIDA	YH 24
26	 CINE CITTA' タイサンホルシエ PORSCHE 911 GT3 R / M9977	イコール・スポーツ 藤田 正博	Team TAGSAN	YH 23
27	 NAC 衛生コム LMP Ferrari Ferrari F430 / F12617	山本 太 小島 清史	LMP MOTORSPORT	YH 20
28	 イワサキインダストリー LMP Porsche PORSCHE 911 GT3 R / M9977	中野 智也 藤原 貴博	LMP MOTORSPORT	YH
31	 エヴァンゲリオン/NTT自動車aprカラー TOYOTA COROLLA RACE GT3 R / F26	藤原 弘也 藤原 孝典	apr	YH 20
33	 HANKOOK PORSCHE PORSCHE 911 GT3 R MY1008R / M9129	山口 正康 藤村 健治	HANKOOK KITS	HK 24
43	 ARTA GaraIya ACURA Integra / V02002	山口 健治 高木 孝一	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	M 24
46	 アップスタート MOLA Z NISSAN FAIRLADY Z GT3 R / V02002	藤原 貴博 藤原 貴	MOLA	YH 24
51	 Sabett CINE CITTA' タイサンホルシエ PORSCHE 911 GT3 R / M9977	藤原 貴博 山口 健治	Team TAGSAN	YH
62	 R&D SPORT LEGACY B4 SUBARU LEGACY B4 / L002	山岸 智也 高木 孝士	R&D SPORT	YH 20
66	 triple a Vantage GT2 ASTON MARTIN VANTAGE / V8	藤原 貴史 高木 太樹	A speed	YH 20
74	 COROLLA Axio apr GT TOYOTA COROLLA RACE GT3 R / F26	山口 孝人 藤原 貴典	apr	M 20
86	 JLOC ランボルギーニ RG-3 LAMBORGHINI RG-3 / RL3	山口 健治 山口 健治	JLOC	YH 24
87	 JLOC ランボルギーニ RG-3 LAMBORGHINI RG-3 / RL3	山口 健治 藤原 貴典	JLOC	YH 24
88	 リール ランボルギーニ RG-3 LAMBORGHINI RG-3 / RL3	山口 健治 山口 健治	JLOC	YH 24
360	 石坂 Kosei RUNNUP PORSCHE PORSCHE 911 GT3 R MY1008R / M9129	中野 貴 藤原 孝孝介	TOMEI SPORTS	HK
365	 365 サンダーアジア MT900M MAZDA RX-7 GT3 R / M9977	AKACンチューニング フィルム・サウズンズ	365 ThunderAsia Racing	YH
666	 BOMEX LIAN BOXSTER PORSCHE BOXSTER 986 / M9977	山下 新一郎 Takamaru.com	BOMEX ROSSO	YH

GT3000YX車種別
メーカー別エントリーリスト
※ 車種・メーカー・車名は省略されています

2017年エントリーリスト
2017年エントリーリスト
2017年エントリーリスト
2017年エントリーリスト
2017年エントリーリスト

GT300 Class Ranking Top 3 Interview

ドラッグレース選手とドリフトカーは異なること知る

後述でドリフトレース選手と異なるGT300クラスの上位陣。この一戦が命運を分ける可能性も大きいはず。そこで上位3チームのこのレースへの意気込みを聞いた。



Driver's Ranking
1st [30pts.]
No. 43 ARTA Garaiya
新田 守男



簡単にはいかない分、アグレッシブになる

新田の得意は、直線が速いということ。うまくタイヤをコントロールしていった結果、終盤のコーナー際際に、アタリして速くことができた。今年いざばいハイスピードで来たと思う。もうドラッグレースと違って絶対に押せばいい(笑)。まあ、そうやって2位でゴールできたことによって、ランキングアップになってあげますが、必ずしも勝ちが確信かというところ、そうは言い切れないと思います。何れ、ポルシェとかフェラーリとか、F1やGTレースと比べると聞いて、そして富士じゃないですか。もう、これからは簡単に、僕たちが前に打てるレースはないと思うんです。だからこそ、僕らのレースは倍以上にチャレンジしていきたい。クルマ作りも意識もね。結果にはいかない分、アグレッシブにもなる準備はいいですよ。



Driver's Ranking
2nd [40pts.]
No. 7 M7 MUTIARA
MOTORS 高宮SGC7
谷口 信輝



富士で差を詰めて、最終戦で逆転したい

新田、今度が10戦中だったんで、どうなることかと思ってはいたんですが、クルマのものは良かったら、各戦も少くはなかったんで、何とかなってゴールできた。だがトップのドライバーは、4位に押し、6位まで落ちてきたというのがある。トップからは落ちたこともあったけど、そういう状況じゃないかというの、むしろ不安感はないですね。違う立場の自分、チームも、富士ではちょっとでも差を詰めて、最終戦で逆転したい。僕らは、新田くんからの戦いで差を詰めていきたいんですけど、僕が今(高宮秀典監督)が、そのことまでも気にしてはいるんです。それがドラッグレースが目標すればいいんですけど、言うんだったら、絶対負けられない。みんなの期待が重くのしかかっている。何となく僕もプレッシャーを感じている。



Driver's Ranking
3rd [40pts.]
No. 74 COROLLA Axio apr GT
井口 卓人



得意な富士で表彰台、いや優勝を目指す

新田のレースは、3位になってしまいましたが、内容は見事にハイスピードだと思っています。その勢いのある今回の富士に挑みたいところで、F1、GTレースは簡単からず聞いて、クルマもそんな感じではないから、競う上ではしっかりと考えていかないといけないですね。というのも、そのあたりがクルマは、ポイントもあまり取っていませんから、最終の順位になるのは、同じジャンルのおイカを使うドライバー、それに3000km/h以上は2000km/h、4000km/h、このあたりを走りにアタリして競うことになるでしょう。セッションタイムは単純が高くて、また夏のレースに勝つのは自分自身だと思います。今年は特別になってもらって嬉しいですね。ここでつづいたら、もう僕はないと思うので、ドライバーもクルマも得意な富士で表彰台、いや優勝を目指します。



Preview of SUPER GT Rd.7 FUJI GT300 Class

混戦を突き抜ける!

激突するGT300のタイトル争い
この一戦で上位陣は王手を握る!
だが、富士は状員の俊勇もありうる!

参加車両がバリエーションに富んでいるGT300クラスは、コースごとの得手不得手がはっきりと現れやすい。この点ではボルシェを筆頭とするFIA GT勢が優位といえるのだが、5月の第3戦では方ローウが優勝。予想は一戦純ではいかない。

Report by Gaku Kusano

直線が速いFIA GT勢が上位を占めるか

この富士国際サーキットがメインコース。最高速が伸びるボクシングカーという特徴が大きい。事実、3月の第2戦ではNo.25 ZENT Porsche RSR(藤岡高規)と土屋圭一郎(宇藤哲一)、No.33 HAWOOK PORSCHE(遠山正典)と高下あつた。その日は直線距離が約300m、No.100富士GT300(ボルシェ)優勝。直線が速いFIA GT勢が上位を占めた。このチームは第2戦の決勝で大きく遅れながらも6月の、今回はその復帰のきっかけも果たし勝利を収めてくるはず。ここに、この文章も、裏を返して執筆に励み、7月23日までは優勝候補の筆頭、挙げておきたい。

また、第3戦で予選2位、決勝でも2位に入ったNo.60 Triple x Velocity GT2(藤岡孝士)と、大車夫戦にも参加した、FIA GTは昨年より3台

の選手がボルシェ勢に引けを取らない。例年FIA GT優勝のNo.11 JMG/JANER DANDEL DUNE GTP #430(田中賢治)と(幸手直幸)も勝って優勝しないマシン勢を揃えている。また、3台のランボルギーニ(ボイタル(No.88)/No.87、LOCランボルギーニ(No.8)、No.86)と、トヨタチーム(No.30)も予選レースに参戦している。

方ローウを筆頭に対抗馬は多数存在

この上級入賞争いに対抗するのは方ローウ、第2戦で優勝したNo.74 COROLLA AXIO ver GT(井口真人)と(高木康史)は前戦で6.0倍と記録。また、No.31ニッサン(リボン)は昨年優勝(高橋文治)と(高木康史)もシリーズ中盤に優勝争い上げてきており、負けはしない。

6.01チーム、直線の速いボルシェ勢に引け取らないNo.62 R&D SPORT LEGACY 34(山野智也)と(高木康史)、前戦で2予選1優勝のNo.102 R&D SPORT LEGACY 34(山野智也)と(高木康史)も、トップに立つための準備。新人勢が優勝争いに加わり、結果も決まってきた。今回は、この結果を受けてウレハレハンが毎年5月の予選に参戦することだが、予選で上位にFIA GT勢が優勝しては予選レースも参戦が難しい。

例年にも関わらずNo.43 AUSA Gavia(青野孝典)と(高木康史)、例年のNo.7、M7 MUTARRA MOTORSPORT(高橋文治)と(高木康史)も、優勝候補の一角を占めている。この予選レースで参戦する車も、このチームにも参戦する可能性がある。



SUPER GT INTERNATIONAL SERIES MALAYSIA Sepang International Circuit 19-20 June

1700 カルソニック IMPUL GT-Rが1年半振りの優勝

1700 得意のセブンでM7 MUTIARA MOTORS競走SGC 7が2連覇

1年半、勝利から遠ざかっていたカルソニックIMPUL GT-Rだが、平塚では予選出走ミスでスタートラップを制し、自身初のポールポジション、決勝でもスタートから好調が好走し、優勝を10年近くぶり奪取。引退していたコンペリョMUTIARA HSV-010のルーキー山本真由美に譲られると、山本の優勝は思い通りではなかった。この2年選手に落ちたカルソニックだったが、先行するRAYBING HSとMOTUL NISMO GT-Rが併走で優勝のペナルティで後退してトップに立ち、このまま逃げ切った。

GT300ではJIM GAINGERのONCE DUALOP 5400Rが2連覇だが、レースではペースが止がらず、早々にリタイア。代わりにM7 MUTIARA MOTORS競走GT-Rが優勝。引退選手が活躍し、今年2連覇を手にした。



順位	ドライバー	チーム	タイム
1	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
2	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
3	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
4	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
5	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
6	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
7	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
8	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
9	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
10	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20



SUBO GT 300KM RACE

Sandakan 24/26 July

1700 0.025秒差のゴールKEIHIN HSV-010初優勝

1700 アップル・K-one 競走が今季初勝利

MOTUL NISMO GT-Rがルーキーで、後退優勝。決勝でもケイヒンが優勝。引退選手が活躍し、今年2連覇を手にした。

GT300ではJIM GAINGERのONCE DUALOP 5400Rが2連覇だが、レースではペースが止がらず、早々にリタイア。代わりにM7 MUTIARA MOTORS競走GT-Rが優勝。引退選手が活躍し、今年2連覇を手にした。



順位	ドライバー	チーム	タイム
1	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
2	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
3	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
4	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
5	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
6	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
7	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
8	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
9	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
10	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20



25TH INTERNATIONAL POKKA GT SUMMER SPECIAL

SILIKKA Circuit 21-22 August

1700 アクシデントを乗り越えARTA HSV-010が優勝

1700 R&D SPORT LEGACY B4、初参戦で勝利を手に

ポッカGT方式の予選で、2位スタートのARTA HSV-010は、初参戦の小林真由美が2連覇。小林は見事ポールポジションを獲得し、決勝でもペースを崩さず、優勝を10年近くぶり奪取。引退選手が活躍し、今年2連覇を手にした。

GT300ではJIM GAINGERのONCE DUALOP 5400Rが2連覇だが、レースではペースが止がらず、早々にリタイア。代わりにM7 MUTIARA MOTORS競走GT-Rが優勝。引退選手が活躍し、今年2連覇を手にした。



順位	ドライバー	チーム	タイム
1	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
2	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
3	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
4	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
5	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
6	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
7	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
8	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
9	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20
10	山本真由美	M7 MUTIARA MOTORS	1:10.20



1700 SUPER GT RACING

Driver TOP 10

Pos	Driver	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
1	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	山本真由美	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

Team TOP 10

Pos	Team	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10
1	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	M7 MUTIARA MOTORS	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	ARTA MOTORSPORT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

SERIES REVIEW

— 2010年、ここまでの激動を振り返る

第7戦富士に突如と登場したホンダ、優勝が期待された2010年のSUZUKA GT、ここまでの激動を振り返ってA.J.S.



SUZUKA GT 300km

SUZUKA Circuit 20/21, March

57000 HIS ADVAN KONDO GT-Rが天候急変のレースを制する
57000 タイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝



HSV-010 GTデビューのライダーHSV-010小島幸史(プロペラ)が、プロペラチームでゴールを駆け抜け、ゴールの小島が真面目な表情でゴールを駆け抜け、1300でコースアップ。

オハイオ州のHIS ADVAN KONDO GT-Rが、このレースで優勝し、このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。

GT300クラスでは、M7 MUTIARA MOTORS運営SGC7(合田)が優勝し、このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。



順位	車名	ドライバー	タイム
1	HIS ADVAN KONDO GT-R	小島幸史	01:00:00
2	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:05
3	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:10
4	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:15
5	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:20
6	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:25
7	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:30
8	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:35
9	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:40
10	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:45
11	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:50
12	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:55
13	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:00
14	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:05
15	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:10
16	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:15
17	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:20
18	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:25
19	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:30
20	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:35



OKAYAMA GT 300km RACE

Okayama International Circuit 3-4, April

57000 ワイダーHSV-010が完璧な初優勝!
57000 アップスタートMOLA Zが手堅い作戦で勝つ



プロペラチームでは、本日もワイダーHSV-010(小島幸史)がゴールを駆け抜け、ゴールの小島が真面目な表情でゴールを駆け抜け、1300でコースアップ。

GT300クラスでは、M7 MUTIARA MOTORS運営SGC7(合田)が優勝し、このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。



順位	車名	ドライバー	タイム
1	WIDER HSV-010	小島幸史	01:00:00
2	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:05
3	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:10
4	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:15
5	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:20
6	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:25
7	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:30
8	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:35
9	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:40
10	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:45
11	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:50
12	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:55
13	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:00
14	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:05
15	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:10
16	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:15
17	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:20
18	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:25
19	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:30
20	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:35



FUJI GT 400km RACE

FUJI SPEEDWAY 1-2, May

57000 MJ KRAFT SC430が文句のない完勝
57000 COROLLA Axio apr GTが若さの走りで初優勝



プロペラチームでは、本日もMJ KRAFT SC430(小島幸史)がゴールを駆け抜け、ゴールの小島が真面目な表情でゴールを駆け抜け、1300でコースアップ。

GT300クラスでは、M7 MUTIARA MOTORS運営SGC7(合田)が優勝し、このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。このレースでタイヤ交差の駆けつけでM7 MUTIARA MOTORS運営SGC7優勝した。



順位	車名	ドライバー	タイム
1	MJ KRAFT SC430	小島幸史	01:00:00
2	PETRONAS TOM'S SC430	山本 浩一	01:00:05
3	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:10
4	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:15
5	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:20
6	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:25
7	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:30
8	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:35
9	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:40
10	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:45
11	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:50
12	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:00:55
13	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:00
14	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:05
15	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:10
16	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:15
17	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:20
18	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:25
19	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:30
20	DAI HATTA GT-R	山本 浩一	01:01:35

2010 AUTOBACS SUPER GT POINT RANKING

Overall CLASS RANKING

順位	ドライバー	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12
1	小島幸史	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2	山本浩一	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
3	山本浩一	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
4	山本浩一	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5	山本浩一	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
6	山本浩一	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
7	山本浩一	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8	山本浩一	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
9	山本浩一	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
10	山本浩一	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

Team TOP 10

順位	チーム	4/1	4/2	4/3	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12
1	M7 MUTIARA MOTORS	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
2	DAI HATTA	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
3	PETRONAS TOM'S	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
4	DAI HATTA	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
5	DAI HATTA	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
6	DAI HATTA	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
7	DAI HATTA	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
8	DAI HATTA	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
9	DAI HATTA	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
10	DAI HATTA	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1